

第2章 第3章

ツールを活用した学習活動の設定



設定編・活用例編

宮城県総合教育センター 特別支援教育研究グループ

ツールの活用を通してできること



P1-6

- 児童生徒の生活を捉えること（**ポイント①** と対応）
- 「学んだことを生かしている姿」を考えること（**ポイント②** と対応）
- 育成を目指す資質・能力（各教科の目標及び内容）を明確にすること

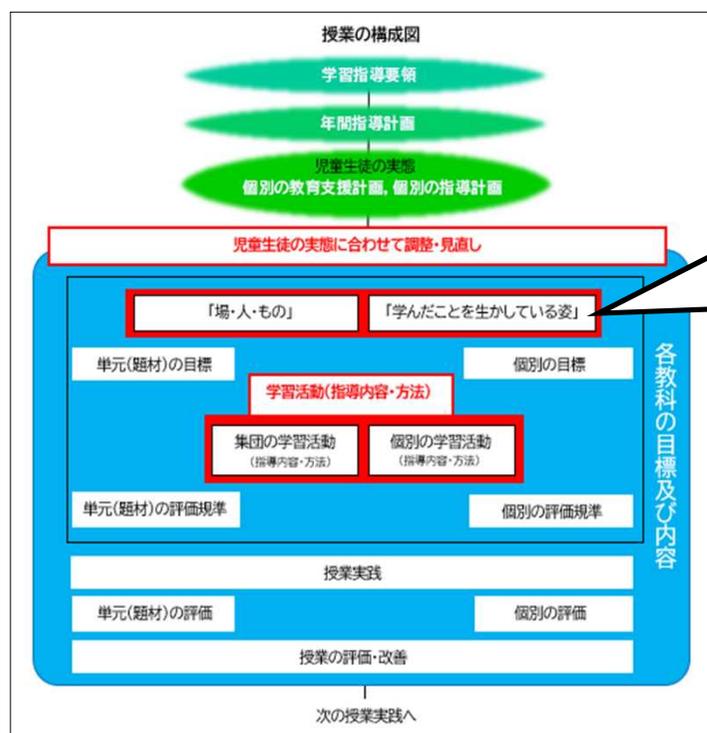


「育成を目指す資質・能力」を
生活に結び付ける学習活動の設定とすることができます。

「育成を目指す資質・能力」を 児童生徒の生活に結び付ける学習活動の設定



P2-1



ポイント①

「場・人・もの」

ポイント②

「学んだことを生かしている姿」

学習活動の設定Step1～5・参照



P2-2

Step1 年間指導計画等の確認

Step2 「学んだことを生かしている姿」の設定

Step3 各教科の目標及び内容の調整・見直し

Step4 個別の学習活動の設定

Step5 集団の学習活動の設定

参照

目標, 評価規準の設定, 調整・見直しの留意点を示しています。

ツールを活用した学習活動の設定



P2-2

ツール1

「場・人・ものマトリックス」

ツール2

「学習活動(指導内容・方法)設定シート」

宮城県総合教育センター 特別支援教育研究グループ

場・人・ものマトリックス

生活の場

「場・人・ものマトリックス」は、知的障害のある児童生徒の生活において、共通する「場・人・もの」の積み重ねや広がりをもキャリア発達段階と組み合わせながら示しています。具体的な事例は、学部(キャリア発達段階)を考慮して例示しています。児童生徒の志趣、学校や地域の実情で取り入れられないもの、他学部(学校)のものを取り入れる場合もあります。キャリア発達段階と「場・人・もの」を考慮して、児童生徒の生活を捉え、学部(学校)に応じた学習活動を設定しましょう。

関わる人

「場・人・ものマトリックス」は、知的障害のある児童生徒の生活において、共通する「場・人・もの」の積み重ねや広がりをもキャリア発達段階と組み合わせながら示しています。具体的な事例は、学部(キャリア発達段階)を考慮して例示しています。児童生徒の志趣、学校や地域の実情で取り入れられないもの、他学部(学校)のものを取り入れる場合もあります。キャリア発達段階と「場・人・もの」を考慮して、児童生徒の生活を捉え、学部(学校)に応じた学習活動を設定しましょう。

扱うもの

「場・人・ものマトリックス」は、知的障害のある児童生徒の生活において、共通する「場・人・もの」の積み重ねや広がりをもキャリア発達段階と組み合わせながら示しています。具体的な事例は、学部(キャリア発達段階)を考慮して例示しています。児童生徒の志趣、学校や地域の実情で取り入れられないもの、他学部(学校)のものを取り入れる場合もあります。キャリア発達段階と「場・人・もの」を考慮して、児童生徒の生活を捉え、学部(学校)に応じた学習活動を設定しましょう。

学部	小学校(小学校)	中学校(中学校)	高等学校(高等学校)
生活の場	家庭及び生活に関わる領域の能力獲得の領域	職業及び生活に関わる領域の能力獲得の領域	職業及び生活に関わる領域の能力獲得の領域
関わる人	家族、近所、学校の関係者、他人、など	家族、近所、学校の関係者、他人、など	家族、近所、学校の関係者、他人、など
扱うもの	身の回りや身のまわりのこと、身のまわりのこと、身のまわりのこと	身の回りや身のまわりのこと、身のまわりのこと、身のまわりのこと	身の回りや身のまわりのこと、身のまわりのこと、身のまわりのこと

宮城県総合教育センター 特別支援教育研究グループ

学習活動(指導内容・方法)設定シート

【指導の形態】	【単元(題材)名】	【時数】		
【指導の期間】	【学部・学年・学級】			
氏名	【各教科の目標及び内容】 【育成を目指す資質・能力】	【学んだことを生かしている姿】	【場・人・もの】	【学習活動】 【指導内容・方法】
グループ でも可	学習指導要領を基に、教科や内容のまとまり、技能などを記入します。	年間指導計画に示された各教科の目標及び内容や、「場・人・もの」の積み重ねや広がりから、児童生徒が学んだことを生かしている姿を記入します。	「場・人・ものマトリックス」を参考に、「場・人・もの」を具体的に考えます。全てを記入する必要は、ありません。	「場・人・もの」を指導設定し、ものを教材・教具と考えます。資質・能力を育成し、「学んだことを生かしている姿」にふさわしい学習活動を記入します。
個別に設定				
集団で設定	【主な学習活動】(指導内容・方法)		【指導体制】	【時数】

※個別の学習活動を基に、一人一人が十分に学べる学習活動を考えます。集団として実現可能なものが検討し、指導体制(一斉指導、グループ指導、個別指導)や時数を設定します。

活用例①

各教科等を合わせた指導(生活単元学習) ある特別支援学校中学部の例

※年間指導計画だけではなく、これまでの授業実践の指導案や教育計画等を参考にすることもあります。

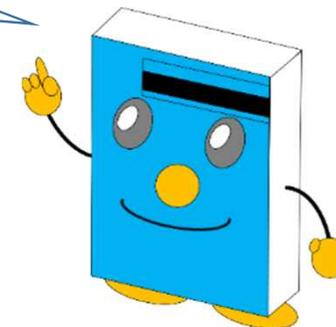


調整・見直し前の年間指導計画		Step 1 年間指導計画等で必要事項を確認しましたか?	
【指導の形態】 各教科等を合わせた指導 生活単元学習	【単元(題材)名】 買物に行こう	【時数】 7時間	
【指導の期間】 5月～6月	【学部・学年】 中学部2学年		
【単元(題材)の目標】 ・買物学習を通して、商品の買い方や選び方等を理解して買物ができる。[知識及び技能] ・買物に関わる人に伝えるように表現を工夫することができる。[思考力, 判断力, 表現力等] ・買物学習に見通しを持って取組み, 学習に活用しようとする。[学びに向かう力, 人間性等]			
【単元(題材)の計画】			
【時数】	【主な学習活動】(指導内容・方法)	【指導体制】	【各教科の目標及び内容】
1時間	1. オリエンテーション ・学習の目的及び内容について知る。	一斉指導	
2時間	2. 買物の準備 ・生活に必要な物の選び方, 買物の仕方について ・店員さんとのやり取りについて	一斉指導	職業・家庭(家庭分野) C消費生活・環境ア(ア) (中学部1段階)
3時間	3. 買物(当日)	一斉指導	国語A聞くこと・話すこと エ(中学部2段階)
1時間	4. 振り返り Step 2・4 「学んだことを生かしている姿」につなげる学習活動となっていますか? Step 5 全員が十分に学べる集団の学習活動になっていますか?	一斉指導	Step 3 各教科の目標及び内容(育成を目指す資質・能力)は生徒の実態に合っていますか?

五つのステップで学習活動を設定します！



P3-3



学習活動(指導内容・方法)設定シート		生徒たちの実態を踏まえ、学習活動(指導内容・方法)設定シートに記入してみました。				
【指導の形態】	各教科等を合わせた指導 生活単元学習	【単元(題材)名】	買物に行こう	【時数】	7時間	
【指導の期間】	5月～6月	【学部・学年・学級】	中学部2年1組	Step1		
個別に設定	氏名	【各教科の目標及び内容】 (育成を目指す資質・能力)	【学んだことを生かしている姿】	【場・人・もの】	【学習活動】 (指導内容・方法)	
	グループでも可	Step3	Step2	Step4		
	A	・職業・家庭(家庭分野)C消費生活・環境ア(ア) (中学部1段階) ・国語A聞くこと・話すことエ (小学部2段階)	・目的に応じた店で、家族(支援者)と買物する。 ・商品やお釣の受け渡しができる。 ・店員と簡単なやり取りをする。 ・エコバックを持参して買物に行く。	場:目的に応じた店 人:店員,家族,支援者,友達 もの:紙幣・硬貨,財布,かご,レシート,エコバック	・教師と一緒に買物の一連の流れを、別教室に設置した仮想店舗でシミュレーションする。 ・本物の紙幣や硬貨の受け渡しをする。 ・「これください」「お願いします」「ありがとうございます」等、店員との簡単な受け答えの練習をする。 ・購入した商品をエコバックに入れる。	
	B	・職業・家庭(家庭分野)C消費生活・環境ア(ア) (中学部1段階) ・国語A聞くこと・話すことエ (中学部2段階)	・目的に応じた店で、自分で必要な商品を選び、買物する。 ・困ったことや質問があったときに、店員と適切にやり取りする。	場:目的に応じた店 人:店員,家族,支援者,友達 もの:紙幣・硬貨,財布,かご,店内表示,レシート	・必要な商品を選び、自分で購入する。 ・買物に必要な物を自分で準備する。 ・店員に伝わりやすいように、視線や適切な声の大きさで、遠ざけて話す練習をする。	
C	・職業・家庭(家庭分野)C消費生活・環境ア(ア)イ(ア) (中学部2段階) ・国語A聞くこと・話すことエ (中学部2段階) ・数学A数と計算イ(ア)㊦ (中学部2段階)	・目的に応じた店で、自分一人で、必要な商品を選び、予算を考えて買物をする。 ・困ったことや質問があったときに、店員と適切にやり取りする。 ・資源回収やエコバックの使用など、環境について知る。	場:目的に応じた店 人:店員,家族,友達 もの:電車,エコバック,メモ帳,プリペイドカード,レシート	・商品の選択や扱い方について知る。 ・店員に伝わりやすいように、表現を工夫する練習をする。 ・タブレット端末の電車機能を使い、予算内で買物ができる学習をする。(プリペイドカードを知る) ・袋の有料化に伴うエコバック等について学習する。		
集団で設定	【主な学習活動】(指導内容・方法)				【指導体制】	【時数】
	1. オリエンテーション	・学習の目的及び内容について知る。 ・袋の有料化に伴うエコバックの活用等について学習する。			一斉指導	1
	2. 買物練習①	・別教室に設置した仮想店舗で買物の流れを確認する。			一斉指導	1
	買物練習②	・個別の目標に応じた買物の仕方を確認、練習する。 ・個別の課題に応じた学習活動を行う。 ・それぞれの練習成果を発表する。			個別指導 一斉指導 個別指導	1 1 1
3. 買物(当日)	・学校の近隣の商業施設へ行き、買物をする。			一斉指導	3	
4. 振り返り	・授業を振り返り、学習の成果を発表する。			一斉指導	1	

Step2 「学んだことを生かしている姿」の設定



P2-4

学習活動(指導内容・方法)設定シート

氏名	【学んだことを生かしている姿】	【場・人・もの】	【学習活動】

「場・人・ものマトリックス (P1-9, 10, 11)」

場	人	もの
スーパー	店員	商品
コンビニ	店員	商品
百貨店	店員	商品
公園	家族	遊具
学校	先生	教材

場	人	もの
スーパー	店員	商品
コンビニ	店員	商品
百貨店	店員	商品
公園	家族	遊具
学校	先生	教材

場	人	もの
スーパー	店員	商品
コンビニ	店員	商品
百貨店	店員	商品
公園	家族	遊具
学校	先生	教材

「場・人・ものマトリックス (P1-9, 10, 11)」

各教科の目標及び内容(職業・家庭)

氏名	【学んだことを生かしている姿】	【場・人・もの】
A 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた店で、家族(支援者)と買物する。 ・商品やお釣の受け渡しができる。 ・店員と簡単なやり取りをする。 ・エコバックを持参して買物に行く。 	場:目的に応じた店 人:店員,家族,支援者,友達 もの:紙幣・硬貨,財布,かご,レシート,エコバック

Step3

各教科の目標及び内容の調整・見直し



調整・見直し前の年間指導計画		Step 1 年間指導計画等で必要事項を確認しましたか？	
【指導の形態】 各教科等を合わせた指導 生活単元学習	【単元(題材)名】 買物に行こう	【時数】 7時間	
【指導の期間】 5月～6月	【学部・学年】 中学部2学年		
【単元(題材)の目標】 ・買物学習を通して、商品の買い方や選び方を理解して買物ができる。【知識及び技能】 ・買物に関わる人に在りよう表現を工夫することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・買物学習に見通しを持って取組み、学習に活用しようとする。【学びに向かう力、人間性等】			
【単元(題材)の計画】			
【時数】	【主な学習活動】(指導内容・方法)	【指導体制】	【各教科の目標及び内容】
1時間	1. オリエンテーション ・学習の目的及び内容について知る。	一斉指導	
2時間	2. 買物の準備 ・生活に必要な物の選び方、買物の仕方について ・店員さんとのやり取りについて	一斉指導	職業・家庭(家庭分野) C消費生活・環境ア(ア) (中学部1段階)
3時間	3. 買物(当日)	一斉指導	国語A聞くこと・話すことエ (中学部2段階)
1時間	4. 振り返り Step 2・4 「学んだことを生かしている姿」につながる学習活動となっていますか？ Step 5 全組が十分に学べる集団の学習活動になっていますか？	一斉指導	Step 3 各教科の目標及び内容(育成を目指す資質・能力)は生徒の状況に合わせていますか？

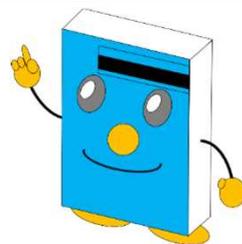
宮城県総合教育センター 特別支援教育研究グループ

学習活動(指導内容・方法)設定シート

【指導の形態】	【単元(題材)名】	【時数】		
【指導の期間】	【学部・学年・学級】			
氏名	【各教科の目標及び内容】 (育成を目指す資質・能力)	【学んだことを生かしている姿】	【場・人・もの】	【学習活動】 (指導内容・方法)
個別に設定				
集団で設定				

氏名	各教科の目標及び内容 (育成を目指す資質・能力)
A 	・職業・家庭(家庭分野)C消費生活・環境ア(ア) (中学部1段階) ・国語A聞くこと・話すことエ (小学部2段階)
B 	・職業・家庭(家庭分野)C消費生活・環境ア(ア) (中学部1段階) ・国語A聞くこと・話すことエ (中学部2段階)

児童生徒の指導で使用している、
学習指導要領「各教科等の目標及び内容」を参照

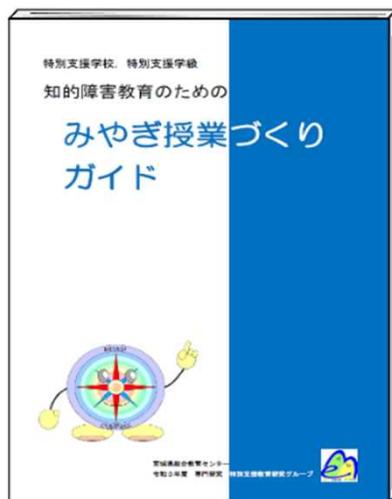


参照

目標, 評価規準の設定

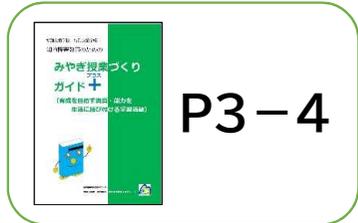


P2-8
P2-9



令和3年度 研究成果物
「みやぎ授業づくりガイド」を
ご参照ください。

【指導の形態】 各教科等を含めた指導 生活単元学習	【単元(題材)名】 買物に行こう	【時数】 7時間	
【指導の期間】 5月～6月	【学部・学年・学級】 中学部2年1組		
【単元(題材)の目標】 ・買物学習を通して、買物の一連の流れや商品の選び方等を理解して買物ができる。【知識及び技能】 ・買物に関わる人に伝えるように表現を工夫することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・買物学習に見通しを持って取り組み、学んだことを学習や買物当日に活用しようとする。「学びに向かう力、人間性等」			
【単元(題材)の計画】			
【時数】	【主な学習活動】(指導内容・方法)	【指導体制】	【各教科の目標及び内容】
1時間	1. オリエンテーション ・学習の目的及び内容について知る。 ・何を購入するか確認する。 ・袋の有料化に伴うエコバック等について学習する。	一斉指導	指導体制の調整・見直しが行われています。 Step 5
2時間	2. 買物練習① ・別教室に設置した仮想店舗で買物の流れを全体で確認する。 ・個別の目標に応じた買物の仕方を確認、練習する。 買物練習② ・個別の課題に応じた学習活動を行う。 ・それぞれの練習成果を発表する。	一斉指導 個別指導	職業・家庭(家庭分野) C消費生活・環境 ア(ア)(中学部1段階) (中学部2段階) イ(ア)(中学部2段階) 国語 A聞くこと・話すこと エ(小学部2段階) (中学部2段階) 数学 A数と計算 イ(ア)㉠ (中学部2段階)
3時間	3. 買物(当日) ・学校の近隣の商業施設へ行き、買物する。	一斉指導	取り扱う各教科や段階の調整・見直しが行われています。 Step 3
1時間	4. 振り返り ・授業を振り返り、学習の成果を発表する。	一斉指導	
【単元(題材)の評価規準】 ・買物学習を通して、買物の一連の流れや商品の選び方等を理解して買物している。(知識・技能) ・買物に関わる人に伝えるように表現を工夫している。(思考・判断・表現) ・買物学習に見通しを持って取り組み、学んだことを学習や買物当日に活用しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)			



P3-4

ツールを活用した学習活動の設定(調整・見直し)後

調整・見直し前の年間指導計画			
Step1 年間指導計画等で必要事項を確認しましたか？			
【指導の形態】 各教科等を合わせた指導 生活単元学習	【単元(題材)名】 買物に行こう	【時数】 7時間	
【指導の期間】 5月～6月	【学部・学年】 中学部2学年		
【単元(題材)の目標】 ・買物学習を通して、商品の買い方や選び方を理解して買物ができる。〔知識及び技能〕 ・買物に関わる人に伝わるように表現を工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 ・買物学習に見通しを持って取組み、学習を活用しようとする。〔学びに向かう力、人間性等〕			
【単元(題材)の計画】			
【時数】	【主な学習活動(指導内容・方法)】	【指導体制】	【各教科の目標及び内容】
1時間	1.オリエンテーション ・学習の目的及び内容について知る。	一斉指導	
2時間	2.買物の準備 ・生活に必要な物の選び方、買物の仕方について ・店員さんとのやり取りについて	一斉指導	職業・家庭(家庭分野) C消費生活・環境(A) (中学部1段階)
3時間	3.買物(当日)	一斉指導	国語A聞くこと・話すこと エ(中学部2段階)
1時間	4.振り返り Step2・4 「学んだことを生かしている姿」につながる学習活動となっていますか？ Step5 全員が十分に学べる集団の学習活動になっていますか？	一斉指導	Step3 各教科の目標及び内容(育成を目指す資質・能力)は生徒の実態に合っていますか？



学習活動(指導内容・方法)設定シート				
生徒たちの実態を踏まえ、学習活動(指導内容・方法)設定シートに記入してみました。				
【指導の形態】 各教科等を合わせた指導 生活単元学習				
【指導の期間】 5月～6月				
【単元(題材)名】 買物に行こう				
【学部・学年・学級】 中学部2年1組				
【時数】 7時間				
Step1				
氏名	【各教科の目標及び内容(育成を目指す資質・能力)】	【学んだことを生かしている姿】	【単・人・もの】	【学習活動(指導内容・方法)】
	Step3	Step2		Step4
A	職業・家庭(家庭分野)C消費生活・環境(A)ア(中学部1段階)「商品が安く・鮮やかになる(家庭分野)」	目的に応じた店員さん(店員さん)と買物する。商品やサービスの選択ができる。商品と価格の取り決めができる。エコバッグを持参して買物に行く。	目的に応じた店員さん(店員さん、店員さん、店員さん)と買物する。商品やサービスの選択ができる。商品と価格の取り決めができる。エコバッグを持参して買物に行く。	教師と一緒に買物の一連の流れを、別教室に設置した仮想店舗で確認する。本物の商品やサービスの選択ができる。「ここが安い」「お買い得です」「ありがとうございます」などの言葉を使い、接客や接客の応答ができる。商品やサービスの選択ができる。商品と価格の取り決めができる。エコバッグを持参して買物に行く。
B	職業・家庭(家庭分野)C消費生活・環境(A)ア(中学部1段階)「商品が安く・鮮やかになる(家庭分野)」	目的に応じた店員さん(店員さん)と買物する。商品やサービスの選択ができる。商品と価格の取り決めができる。エコバッグを持参して買物に行く。	目的に応じた店員さん(店員さん、店員さん、店員さん)と買物する。商品やサービスの選択ができる。商品と価格の取り決めができる。エコバッグを持参して買物に行く。	商品やサービスの選択ができる。商品と価格の取り決めができる。エコバッグを持参して買物に行く。
C	職業・家庭(家庭分野)C消費生活・環境(A)ア(中学部1段階)「商品が安く・鮮やかになる(家庭分野)」	目的に応じた店員さん(店員さん)と買物する。商品やサービスの選択ができる。商品と価格の取り決めができる。エコバッグを持参して買物に行く。	目的に応じた店員さん(店員さん、店員さん、店員さん)と買物する。商品やサービスの選択ができる。商品と価格の取り決めができる。エコバッグを持参して買物に行く。	商品やサービスの選択ができる。商品と価格の取り決めができる。エコバッグを持参して買物に行く。
【主な学習活動(指導内容・方法)】 Step5				
【指導体制】				
【時数】				
1時間	1.オリエンテーション	一斉指導	1	
2時間	2.買物の準備	一斉指導	1	
3時間	3.買物(当日)	一斉指導	1	
1時間	4.振り返り	一斉指導	1	

【指導の形態】 各教科等を合わせた指導 生活単元学習	【単元(題材)名】 買物に行こう	【時数】 7時間	
【指導の期間】 5月～6月	【学部・学年・学級】 中学部2年1組		
【単元(題材)の目標】 ・買物学習を通して、買物の一連の流れや商品の選び方を理解して買物ができる。〔知識及び技能〕 ・買物に関わる人に伝わるように表現を工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 ・買物学習に見通しを持って取組み、学んだことを学習や買物当日に活用しようとする。〔学びに向かう力、人間性等〕			
【単元(題材)の計画】			
【時数】	【主な学習活動(指導内容・方法)】	【指導体制】	【各教科の目標及び内容】
1時間	1.オリエンテーション ・学習の目的及び内容について知る。 ・何を購入するかを確認する。 ・袋の有料化に伴うエコバッグ等について学習する。	一斉指導	指導体制の調整・見直しがされています。 Step5
2時間	2.買物練習① ・別教室に設置した仮想店舗で買物の流れを全体で確認する。 ・個別の目標に応じた買物の仕方を確認、練習する。 買物練習② ・個別の課題に応じた学習活動を行う。 ・それぞれの練習成果を発表する。	一斉指導 個別指導	職業・家庭(家庭分野) C消費生活・環境 ア(ア)(中学部1段階) イ(イ)(中学部2段階) 国語 A聞くこと・話すこと エ(小学部2段階) (中学部2段階)
3時間	3.買物(当日) ・学校の近隣の商業施設へ行き、買物する。	一斉指導	数学 A数と計算 イ(イ)㉠ (中学部2段階)
1時間	4.振り返り ・授業を振り返り、学習の成果を発表する。	一斉指導	取り扱う各教科や段階の調整・見直しがされています。 Step3
【単元(題材)の評価規準】 ・買物学習を通して、買物の一連の流れや商品の選び方を理解して買物している。(知識・技能) ・買物に関わる人に伝わるように表現を工夫している。(思考・判断・表現) ・買物学習に見通しを持って取組み、学んだことを学習や買物当日に活用しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)			

お疲れさまでした！

